

パッケージ型消火設備

パッケージ型消火設備 I 型

施工性と操作性がさらにアップ。



- 両開き扉の採用で、設置場所がより自由に。
- 全てが一体化されたパッケージ型。だから、施工が簡単。
- 小型・軽量化により、運搬・施工が容易に。



NOHMI

パッケージ型消火設備は、『必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等(客観的検証法(ルートB))』として位置付けられています。

●屋内消火栓設備の代替設備として

地下街および指定可燃物を除く、屋内消火栓設備を設置しなければならない防火対象物のうち一定規模以下の防火対象物に、屋内消火栓設備の代替設備として設置できます。

特長

1 両開き扉の採用

設置場所により右開き左開きを選択する必要がなくなり、現場の急な設置場所変更にも対応可能。消火の際の操作性も向上しました。

2 施工が簡単

格納箱に貯蔵容器、加圧ボンベ、ホースなどが組み立て済みなので、現場での作業が簡単。設置して表示灯を取り付け、薬剤を充填すれば作業が完了します。

3 小型・軽量・一体化

コンパクト設計で、設置場所に困りません。
納入時の質量は約77kg(消火薬剤含まず)と軽量で運搬・施工が容易です。

●パッケージ型消火設備Ⅰ型 露出型外観・寸法



●パッケージ型消火設備Ⅰ型 仕様

型	名	MRW-802
認 定 番 号		PG-037型
格納箱	質 量	約175kg(消火薬剤含む)
	外 形 寸 法	H1400 × W700 × D250mm
	材 質	SECC(電気亜鉛メッキ鋼板 t:1.0mm)
	塗 装 色	マンセル 2.5Y9/2
消火剤	種 別	第三種浸潤剤等入り水
	薬 剤 型 式	鑑剤第17～1号
	薬 剤 量	80L
使 用 温 度 範 囲		-10℃～+40℃
加 圧 用 ガ ス		窒素ガス
加圧用ガス容器弁型式		鑑弁第59～1号または、よ-176号
表 示 灯		AC100V/DC・AC24V
放 射 ホ ー ス	方 式	ボール弁開閉式
	外径×内径×長さ	20.8mm×11.8mm×25.5m
	放 射 距 離	13～15m
	放 射 量	20.8L/分
	放 射 時 間	約220秒

⚠ 安全に関するご注意

- 安全のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用および維持管理してください。
- 本設備は、初期消火を目的とした設備ですが、可燃物の種類や規模、形態などによっては消火できない場合もあります。
- この製品は「消火設備」の構成機器です。他の用途には使用しないでください。
- この製品の取付け・調整・メンテナンスは、法によって定められた有資格者が必ず行ってください。

- この製品の仕様および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- カタログと実際の製品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。
- 大切な防災システムのメンテナンスは多数の有資格者を有する当社CS部門または当社代理店・特約店にご用命ください。
- このカタログの記載内容は2009年2月現在のものです。

お問い合わせは…

NOHMI 能美防災株式会社

本 社	〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3	TEL.(03)3265-0211 FAX.(03)3264-4465
支 社	北海道(011)746-6911	東 北(022)221-2695
	茨 城(029)225-2600	千 葉(043)266-0303
	横 浜(045)682-4700	長 野(026)227-5521
	金 沢(076)252-6211	大 阪(06)6330-8661
	広 島(082)510-1125	岡 山(086)244-4222
営業所	旭 川(0166)35-7824	青 森(017)729-0532
	郡 山(024)933-5580	福 島(024)528-4195
	渋谷(03)3461-1051	杉 並(03)3306-0451
	五反田(03)3779-9737	土 浦(029)822-3851
	埼玉西(049)247-4640	川 崎(044)233-5773
	岐 阜(058)276-7761	三 重(059)226-9860
	高 松(087)862-6012	徳 島(088)625-4325
	長 崎(095)845-0135	大 分(097)543-2778
	沖 縄(098)862-4297	宮 崎(0985)28-8792
工 場	三 鷹(0422)44-5141	メヌマ(048)588-1531

URL <http://www.nohmi.co.jp/> E-mail kouhou@nohmi.co.jp

090205①-E-2706YO1

平成16年5月31日付
総務省令第92号

- 地階、無窓階または火災のとき煙が著しく充満するおそれのある場所には設置できません。
- 防火対象物の階ごとに、その階の各部分からホース接続口までの水平距離が20m以下に設けること、また防護する部分の面積は、850m²以下とすること。
- 温度40度以下で、温度変化が少ない場所に設けること。(本消火設備の使用温度範囲は-10~40℃です。)
- 直射日光および雨水のかかるおそれの少ない場所に設けること。

※保守点検:消火設備は消防法により、機器点検は6ヵ月に1回、総合点検は1年に1回行うように定められています。